

# 公益財団法人身体教育医学研究所

## 令和 5 (2023) 年度事業報告

(令和 5 (2023) 年 4 月 1 日から令和 6 (2024) 年 3 月 31 日まで)

### I. 法人の概況

#### 1. 設立年月日等

平成 11 (1999) 年 5 月 15 日 研究所開所 (社会福祉法人みまき福祉会内)  
平成 21 (2009) 年 2 月 2 日 一般財団法人設立  
平成 23 (2011) 年 3 月 22 日 公益財団法人認定 (長野県)  
令和 元 (2019) 年 8 月 31 日 開所 20 周年記念式典

#### 2. 定款に定める目的 (定款第 3 条)

この法人は、身体に関わる様々な事象について、従来の保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野を総合させた調査研究・分析評価・教育啓発活動を行い、「からだを育む」ことを通した全ての人々の健康づくりと公共政策づくりに寄与することを目的とする。

#### 3. 定款に定める事業内容 (定款第 4 条)

定款第 4 条に定める事業区分	公益認定に伴う公益目的事業の区分
(1) 身体教育医学に関する調査研究	(公 1) 身体教育医学に関する調査研究事業
(2) 調査研究事業、 健康づくり事業等の受託及び協力	(公 2) 健康づくりに関する事業受託、講演会・教室への 講師派遣、相談指導等の教育啓発事業
(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣	
(4) 健康づくりに関する相談及び指導	
(5) 講演会、講習会、研究会等の開催	(公 3) 法人主催の研修会、出版物の発刊、収集した 文献の一般公開等による情報発信事業
(6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行	
(7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧	
(8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	※内容により (公 1) ~ (公 3) のいずれかに該当

#### 4. 所管官庁に関する事項

長野県 総務部 情報公開・法務課

#### 5. 主たる事務所の状況

長野県東御市布下 6 番地 1 ケアポートみまき内

#### 6. 職員に関する事項 (令和 6 (2024) 年 3 月 31 日現在)

職員数 (臨職数)		前期末比増減 (臨職数)	平均 年齢	平均勤続 年数	備考
男子	5 名(2 名)	-1 名(0 名)	46.7	7.2	うち正規雇用 1 名は東御市より派遣
女子	5 名(4 名)	0 名(0 名)	51.4	11.0	
全体	10 名(6 名)	-1 名(0 名)	49.0	9.1	平成 25 (2013) 年度末の状況 8 名(3 名)、+2 名、36.6 歳、7.3 年

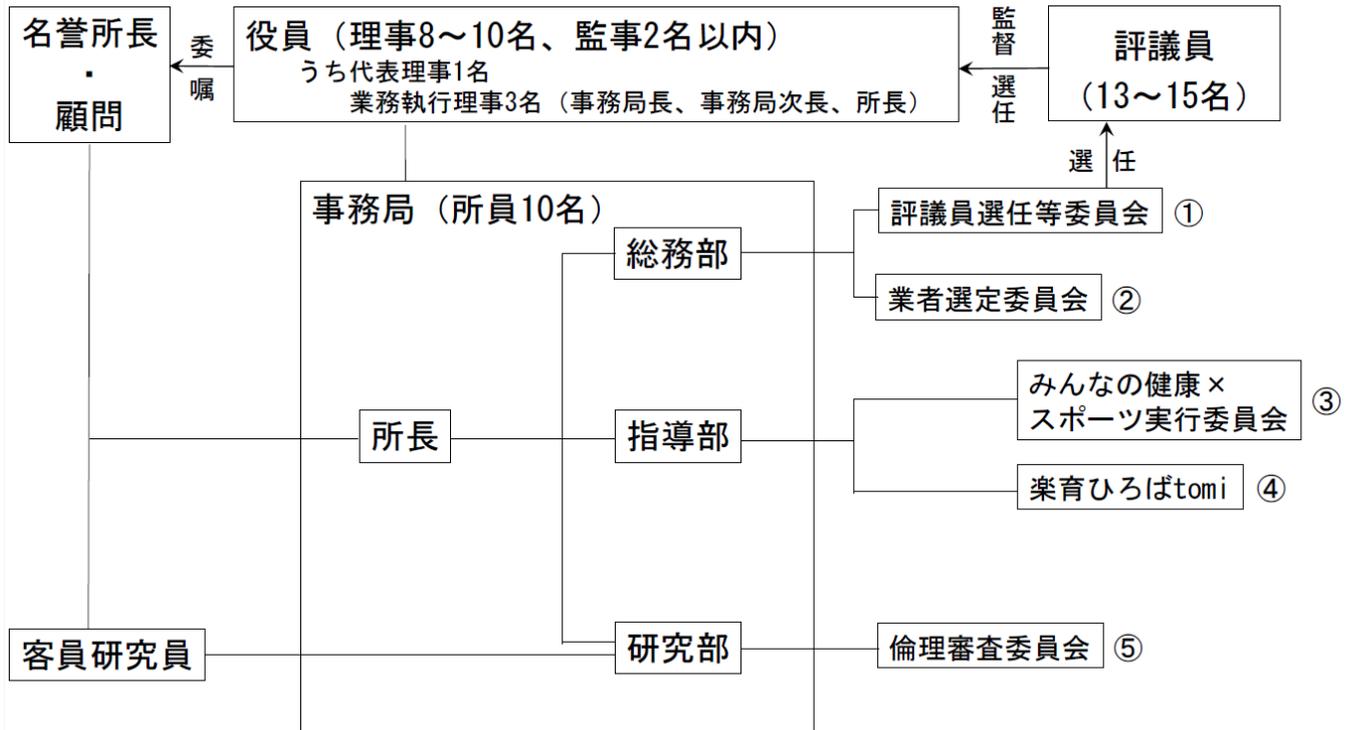
7. 名誉所長、顧問、客員研究員に関する事項（令和6（2024）年3月31日現在）

役職	氏名	常勤・非常勤	現職
名誉所長	武藤 芳照	非常勤	一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所・所長
顧問	桂川 保彦	非常勤	株式会社スポーツデザイン研究所・首席研究員
顧問	木村 貞治	非常勤	信州大学医学部保健学科・教授
顧問	中澤 公孝	非常勤	東京大学スポーツ先端科学連携研究機構・機構長
客員研究部長	奥泉 宏康	非常勤	上田市武石診療所・所長
客員研究部長	上岡 洋晴	非常勤	東京農業大学大学院農学研究科環境共生学専攻・教授
客員研究部長	小松 泰喜	非常勤	日本大学スポーツ科学部・教授
客員研究部長	朴 眩泰	非常勤	韓国・東亜大学校・健康科学大学長
客員研究員	大関 真理子	非常勤	公益財団法人ニッポンドットコム・総務部長
客員研究員	加藤 美絵	非常勤	元身体教育医学研究所・研究員
客員研究員	金藤 理絵	非常勤	東御市企画振興部文化・スポーツ振興課・GMOアスリートパーク湯の丸PR大使
客員研究員	鎌田 真光	非常勤	東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻・講師
客員研究員	佐藤 照友旭	非常勤	元公益財団法人東京リビック・パフォーミング競技大会組織委員会・アスリート・チーム係長
客員研究員	高橋 亮輔	非常勤	日本大学理工学部・准教授
客員研究員	朴 相俊	非常勤	佐久大学看護学部・教授

8. 役員等に関する事項（令和6（2024）年3月31日現在）

役職	氏名	常勤・非常勤	現職
評議員	荒川 玲子	非常勤	NPO 法人うえだミックススポーツクラブ・理事長
評議員	飯島 裕一	非常勤	信濃毎日新聞社・特別編集委員
評議員	岩橋 輝明	非常勤	東御市民病院・院長
評議員	掛川 卓男	非常勤	㈱信州東御市振興公社・取締役総務部長
評議員	金井 一子	非常勤	東御市民生児童委員協議会・理事
評議員	久堀 周治郎	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・顧問
評議員	後藤 誠	非常勤	東御市工業振興会・代表
評議員	小山 隆文	非常勤	東御市・教育長
評議員	佐藤 千枝	非常勤	長野県議会・議員
評議員	田中 信寿	非常勤	東御市議会・副議長
評議員	茅野 隆徳	非常勤	社会福祉法人上田明照会・専門幹
評議員	中澤 敏正	非常勤	長野県上田保健福祉事務所・副所長
評議員	中堀 雅夫	非常勤	NPO 法人東御市スポーツ協会・会長
評議員	堀内 ふき	非常勤	佐久大学・学長
評議員	横山 好範	非常勤	社会福祉法人東御市社会福祉協議会・会長
代表理事	田丸 基廣	非常勤	東御市・副市長
業務執行理事	井出 政之	非常勤	東御市・健康福祉部長
業務執行理事	翠川 昌博	非常勤	社会福祉法人みまき福祉会・理事長
業務執行理事	岡田 真平	常勤	公益財団法人身体教育医学研究所・所長
理事	北湯口 純	非常勤	身体教育医学研究所うなん・管理研究員
理事	工藤 保子	非常勤	大東文化大学スポーツ・健康科学部・准教授
理事	齋藤 文護	非常勤	東御市立みまき温泉診療所・所長
理事	三溝 和子	非常勤	東御市スポーツ推進委員会・代表
理事	田中 千晶	非常勤	東京家政学院大学人間栄養学部・教授
理事	中村 崇	非常勤	一般社団法人健康福祉広域支援協会・代表理事
監事	小林 経明	非常勤	学校法人信学会・理事長
監事	堀内 和子	非常勤	株式会社エフエムとうみ・代表取締役

## 9. 組織図



### ※各委員会の構成

#### ①評議員選任等委員会 (5人)

評議員1人、監事1人、事務局員1人、外部委員2人

#### ②業者選定委員会 (委員長及び委員若干名)

委員長:業務執行理事 (事務局次長) 委員:理事1名、評議員1名、監事1名、所長、総務部若干名

#### ③みんなの健康×スポーツ実行委員会 (20人以内)

東御市身体障害者福祉協会、東御市手をつなぐ育成会、陽だまりの会、ぴかそくらぶ、はこべの会、東御市、東御市教育委員会、東御市スポーツ推進委員会、(特非)東御市スポーツ協会、(福)みまき福祉会、(福)東御市社会福祉協議会、(福)ちいさがた福祉会、(一社)Sany TOMI、(公財)身体教育医学研究所 (事務局)

#### ④楽育ひろば tomi (20人以内)

- (1)公益財団法人身体教育医学研究所関係者
- (2)東御市及び周辺地域の教育・福祉関係者
- (3)東御市役所内関連部署関係者
- (4)識見を有する者

#### ⑤倫理審査委員会 (5人以上)

- (1)医学・医療の専門家等、自然科学の有識者が含まれていること  
市立みまき温泉診療所 (所長)、東京農業大学 (教授)
- (2)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者が含まれていること  
(福)みまき福祉会 (理事長)
- (3)研究対象者の観点も含めて一般の立場から意見を述べることのできる者が含まれていること  
学識経験者
- (4)委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること
- (5)男女両性で構成されていること
- (6)5人以上であること

## II. 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

2023年度は、第3期中期計画の最終年度として、掲げた基本的考え【コンセプト】、社会的使命【ミッション】、行動指針【ビジョン】に沿って、当年度の重点課題を定めたうえで各種事業に取り組んだ。

#### ～基本的考え【コンセプト】と社会的使命【ミッション】～

#### 「からだを育み、こころを育み、きずなを育む」研究と実践を地域(信州・東御)から発信する

私たち「しんたい」は、保健・医療・福祉・介護・教育・スポーツ等の諸分野にまたがる調査研究・教育啓発・情報発信等の活動を地域で実践し、各活動に関連する幅広いネットワークを生かすことにより、誰もが「からだを育み、こころを育み、きずなを育み」ながら、地域で健やかに暮らし続けることができるための公共政策づくりに寄与します。

行動指針【ビジョン】しんたいは、「子どもの育ち」「心身の健康」「みんなのスポーツ」に関わる各領域を個別に捉えることなく、相互に関連づけながら研究と実践を進めていくことを強みとし、地域に密着した独自性のあるシンクタンクとして、核となる各種事業を展開していきます。またその活動により、公益法人として「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成にも貢献します。

まず要旨として、年度当初の事業計画に記載した以下の重点課題に沿って事業の概況を報告する。

#### <重点課題>

1. 第3期中期計画（2020－2023）の最終年度、ポストコロナの状況もふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立し、次期の4年間につなげる。
2. 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1，3）
3. 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

#### ①重点課題（1）

#### 第3期中期計画（2020－2023）の最終年度、ポストコロナの状況もふまえて、法人の持続的発展・財源安定とSDGs（持続可能な開発目標）の達成への貢献とが両立し、次期の4年間につなげる。

2023年度は1年間、正規職員が1名欠員の状況の中で、正規4名と臨時6名の職員体制によって、多様な業務が滞らず遂行できるように、役割分担の明確化や、地域との協働による活動（楽育ひろば、みんなの健康×スポーツ、総合型クラブとの連携）の推進などに継続的に取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、指導現場がコロナ前の状況に回復するとともに、助成事業により大規模な普及事業に取り組んだことから、（公2）教育啓発事業の経常収益が46,592,546円と、前年度の約2倍の大きな金額になった。

業務上では、研究、実践の両面において、幅広いネットワークの中で連携をコーディネートする役割が定着してきており、調査研究事業と教育啓発事業の展開における当研究所の強みとなっている。また、コロナ禍の経験を経て、より柔軟な活動が可能な組織体として運営を行っている。今後に向けてさらに組織体制や活動内容を充実・発展できるよう、地域からの特色ある発信とシンクタンク機能の強化を進めていく。

加えて、第3期中期計画の中に明示したSDGsのゴール・ターゲットに対して、当研究所の各種活動が貢献できることは明確であり、今後はSDGsとの親和性の高さも法人活動の強みとしていく。

収支全般の状況で報告すべき主な点は次の通り。

【単位：円】

項目	2023年度	2022年度	対前年増減額	前年対比
経常収益計	84,118,238	73,374,736	10,743,502	115%
うち（公2）教育啓発事業	46,592,546	23,422,347	23,170,199	199%
事業収益	28,941,361	42,873,571	-13,932,210	68%
受取補助金等	44,561,902	19,874,098	24,687,804	224%
受取寄附金	10,614,748	10,626,700	-11,952	100%
経常費用計	85,735,268	71,911,841	13,823,427	119%
事業費	83,631,592	68,717,083	14,914,509	122%
当期経常増減額	-1,617,030	1,462,895	-3,079,925	-111%
一般正味財産期末残高	12,622,501	14,739,531	-2,117,030	86%
指定正味財産期末残高	1,026,000	34,382,902	-33,356,902	3%
正味財産期末残高	13,648,501	49,122,433	-35,473,932	28%

今年度の正味財産期末残高は、前年度の 49,122,433 円から 13,648,501 円へと大幅に減少したが、これは、2021 年度からの大規模な日本財団助成事業（47,200,000 円、2023 年度で終了）において計画通りに支出したものである。このように、年度によって経常収益・費用の変動が大きい状況が変わらず続いていることから、改めて長期的な資金の見通しが立つ財源を確保し、より安定した持続可能な体制を確立していかなければならない。具体的には、賛助会員制度の本格運用による「しんたい応援寄附金」の公募等への積極的な取り組みが必要だが、これには、公益目的事業 1, 2, 3 の充実の中で賛助会員登録を喚起できるような仕組みづくりが不可欠となる。

## ②重点課題（2）

### 事業内容に沿った調査研究活動を精力的に進め、研究成果等をわかりやすく発信する。（公1, 3）

2023 年度も継続的に、地域の要望に応じたテーマと研究所が主体的に取り組むテーマとを融合させて、市の健康福祉・教育関連の分析業務を行うとともに、高地プール関連では、運営支援にかかる業務として継続的に「モニタリング調査」を行った。また、大学・研究機関からの依頼による新たな研究課題として、東京都健康長寿医療センター研究所「ウェアラブル機器による身体活動指標の比較可能性の検証」や東京大学大学院教育学研究科「高齢者におけるサルコペニア予防のための睡眠パターンの解明」等に協力した。

2021 年度末に着手した日本財団助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」については、コロナ禍の影響も受けた事業期間の延長から、2023 年度はアプリ普及のための教育啓発事業として、助成事業最終年度としての取り組みを行った。

継続的な連携協力関係を基盤とした一般社団法人東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業では「地域活動を担う中高年の健康・体力づくりに関する調査研究」を行い、成果物がまとめられた。また、長期間にわたる研究課題となっている、「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」と「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠と発育・発達指導との関連」の 2 つのプロジェクトにも継続的に関わってきた。

また、全国組織である一般社団法人日本転倒予防学会の事務局業務を受託して 2 年目となり、引き続き国内で転倒予防の学術研究と社会啓発を推進するネットワークの要となる機能を担っている。

調査研究活動（分担研究・共同研究含む）のアウトプットとしては、自己資金・外部資金による調査研究実績 6 件、学術論文実績 4 件、編著書 2 件、学会発表 12 件であった。なお、主任研究者としての研究成果発信や、所員が主体的に取り組む研究の質・量の向上、文部科学省の研究機関の指定等を活用した競争的資金の獲得、倫理審査体制の充実を含めた大学との連携は継続課題として残っている。

なお、「しんたい学会」と銘打っての開催ではなかったが、湯の丸高原を会場に開催した第 24 回高所トレーニング国際シンポジウムの大会長を研究部長が務め、現地参加とオンライン合わせてのべ 350 人の全国の関係者が集う有意義な機会を提供することができた。

関係する各種団体への役員等の関わりは 30 件（前年度 30 件）、書籍・新聞・雑誌等への掲載は 33 件（前年度 44 件）であった。

## ③重点課題（3）

### 理念に沿った地域に貢献する教育啓発活動を行い、地域との協働による取り組みを進める。（公2）

教育啓発事業の規模を件数及び対象人数で示すと（5 類感染症への移行と、所員欠員の両方が影響）、

- ・健康づくり事業：398 件（前年度のワクチン接種支援除いた健康づくり事業 479 件に対して 83%）、8,985 人（同じく、前年度のワクチン接種支援を除く 10,386 人に対して 87%）
- ・講演等への講師派遣：108 件（同 139 件の 78%）、4,140 人（同 7,354 人の 56%）は、これまで多くの件数を担っていた所員の欠員が大きく影響した。

また、これまでと同様に、直接指導と並行して人材育成を通じた地域貢献に関わる業務量は大きい状況であり、中でも、健康づくりに関する相談及び指導に含まれる「楽育ひろば tomi 事業」と『みんなの健康×スポーツ』実行委員会事業』の 2 つの事業は、いずれも研究所が事業を組み立て、関係機関や地域ボランティア等の積極的な参画を得ての取り組みが定着するとともに、市や関連団体の関与もさらに強まってきており、法人が主体的に地域に働きかける事業として重要な位置づけになっている。これらの事業は 83 件で、2,930 人が参加した。

加えて、研究所が設立と運営に深く関わってきた総合型地域スポーツクラブ「一般社団法人 Sany TOMI」が通年での活動を本格的にスタートして 2 年目となり、地域との協働による取り組みがより一層充実した形で取り組めるようになった。

## (1) 身体教育医学に関する調査研究

---

### 1. 自己資金による調査研究事業

- ① 東京健康リハビリテーション総合研究所との協働事業「地域活動を担う中高年の健康・体力づくりに関する調査研究」(岡田真平)

### 2. 外部資金による調査研究事業

- ① 日本財団 2021 年度助成事業「ハイブリッド型つながり支援による健康寿命延伸事業モデルの構築」(岡田真平・横井佳代) …アプリ普及に向けて教育啓発事業として実施
  - ② 日本農村医学会・農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防コホート研究」(塩飽邦憲<代表>・岡田真平<分担>)
  - ③ 東京家政学院大学 科研費基盤研究(B)「全国大規模調査による幼児期の身体活動、座位行動、睡眠と発育・発達指導との関連」(田中千晶<代表>・岡田真平<協力>)
  - ④ 東京都健康長寿医療センター研究所「ウェアラブル機器による身体活動指標の比較可能性の検証」(笹井浩行<代表>・志村広子<担当>・岡田真平・横井佳代・堀口志穂<協力>)
  - ⑤ 東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース「高齢者におけるサルコペニア予防のための睡眠パターン の 解 明 」 ( 東 郷 史 治 < 代 表 > ・ 黄 婉 綺 < 担 当 > ・ 岡 田 真 平 ・ 半 田 秀 一 < 協 力 > )
- 

### 3. 学術論文

- ① T Baba, M Watanabe, H Ogihara, **S Handa**, K Sasamoto, **S Okada**, H Okuizumi, T Kimura. Validity of temporo-spatial characteristics of gait as an index for fall risk screening in community-dwelling older people. *Journal of Physical Therapy Science*, 35(3):265-269, 2023.
  - ② 安部孝文, 北湯口純, 福島教照, 鎌田真光, **岡田真平**, 田中千晶, 井上茂, 武藤芳照. PAIREM モデルを用いた保育者を対象とする幼児期運動プログラムの普及施策の実装評価. *運動疫学研究*, 早期公開, <https://doi.org/10.24804/ree.2304>.
  - ③ 横田匡俊, 庄子博人, 川島啓, 稲垣憲治, **岡田真平**. スポーツ関連政策・事業における経済的な効果の分析方法の検討: 地域付加価値創造分析と産業連関分析の活用について. *日本体育大学紀要* 52: 1031-1039, 2023.
  - ④ **半田秀一**, 中沢栄一, 中村崇. フレイル患者に対する外来理学療法の現状と課題: 長野県東御市での取り組みを中心に. *理学療法* 40 (7), 625-633, 2023.
- 

### 4. 編著書

- ① **岡田真平**, 岩橋輝明. 予防教育のための実践モデルの事例⑤長野県東御市の事例. *理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き*, 南江堂.
  - ② **半田秀一**. ストレッチングの方法・アイシングの方法. *理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き*, 南江堂.
- 

### 5. 学会発表

- ① **半田秀一**, 金藤理絵, 黒岩健一, 小山和晃, **岡田真平**. 高地プールを地元中学生スイマーが安全かつ有効に定期利用するための試行事業. 第 12 回日本アスレチックトレーニング学会学術集会, 勝浦市, 7 月 8-9 日, 2023.
- ② 郡司弥恵, 新井彩乃, 高橋優衣香, **岡田真平**, **半田秀一**, **横井佳代**, 中村彩希, 稲山貴代. 高い健康意識を有する地域在住高齢者のフレイル予防を目指した行動科学理論に基づく栄養教育介入の前後比較研究. 第 31 回日本健康教育学会学術大会, 千代田区, 7 月 22-23 日, 2023.
- ③ K Hayamizu, N Yoshida, S Sato, Y Kuramochi Y Akamatsu, K Uchida, **S Handa**. Application of weighted change-point regression approach for evaluating food function. 8th Conference on Innovations in Nutrition and Food Science, Rome, Italy, Sep 7-8, 2023.
- ④ 朴相俊, 今村晴彦, **岡田真平**, 影山隆之. 一般住民に対する自殺予防教育効果の評価尺度「ゲートキーパー教育効果評価尺度 (Gatekeeper Educational Effectiveness Assessment Scale: GEEAS)」の開発. 第 47 回日本自殺予防学会総会, 大分市, 9 月 15-17 日, 2023.
- ⑤ **岡田真平**, 小林良清, 今村晴彦. 長寿県・長野の取組と課題. 第 3 回日本ライフスタイル医学会オープンシンポジウム. WEB, 9 月 28 日, 2023.
- ⑥ 吉田恵里子, 赤松裕訓, **半田秀一**, 速水耕介, 内田健志, **岡田真平**. スケソウダラのタンパク質摂取による筋力増加に有効な摂取頻度の検討. 第 17 回日本アミノ酸学会学術大会, 福岡市, 9 月 30

日-10月1日, 2023.

- ⑦ 佐藤澄佳, 倉持優衣, 吉田直峻, 赤松裕訓, 吉田恵理子, 内田健志, 半田秀一, 岡田真平, 速水耕介. 魚肉タンパク質の有効性解析における重み付け変化点回帰モデルの応用. 第17回日本アミノ酸学会学術大会, 福岡市, 9月30日-10月1日, 2023.
- ⑧ 宮下拓麻, 北湯口純, 安部孝文, 岡田真平. 都道府県別にみた児童生徒の不登校出現率の地域差に関連する要因: 地域相関研究. 第82回日本公衆衛生学会総会, つくば市, 10月31日-11月2日, 2023.
- ⑨ 半田秀一, 岡田佳澄, 岡田真平, 所洋一, 小林裕次, 武藤芳照. 地域における障がい者の運動・スポーツ実施の現状と課題について. 第32回日本パラスポーツ学会, 大分市, 11月17-18日, 2023.
- ⑩ 岡田佳澄, 半田秀一, 岡田真平, 関豊春, 所洋一. 長野県東御市における「みんなの健康×スポーツ」実行委員会の取り組み. 第47回日本障がい者体育・スポーツ研究発表会, 長野市, 11月25-26日, 2023.
- ⑪ M Watanabe, K Takami, S Tanaka, M Okuda, M Takakura, S Okada, JJ Reilly, MS Tremblay, A Okely, C Tanaka. Influence of parental factors on WHO global guidelines for Japanese children under the age of five: the SUNRISE International Study. The 3rd Asia-Pacific Society for Physical Activity conference, Wellington, New Zealand, Nov 27-28, 2023.
- ⑫ 渡邊将司, 高見京太, 田中茂穂, 奥田昌之, 高倉実, 岡田真平, JJ Reilly, MS Tremblay, A Okely, 田中千晶. 幼児の24時間行動に地域類型および園の種別で違いはあるのか: The SUNRISE Study. 日本発育発達学会第22回大会, 京都市, 3月16-17日. 2024.

## (2) 調査研究事業、健康づくり事業等の受託及び協力

	件数	のべ人数
1. 調査研究事業		
① 東御市健康保健課		
1) 5地区別健康課題資料作成業務		
2) 特定健診データ集計・分析業務		
3) 高齢者保健・介護予防一体的実施事業分析業務		
② 東御市福祉課		
1) 地域支援事業評価分析事業		
③ 東御市子ども家庭支援課		
1) 子ども子育て支援事業計画ニーズ調査業務		
④ 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション		
1) モニタリング調査等業務		
2. 健康づくり事業等	計 398 件	計 8985 人
① 東御市健康保健課健康増進係		
1) 出前講座 運動教室等指導事業 (集団)	13	386
2) 特定健診受診者運動教室指導事業 (集団)	15	172
3) 健康づくり運動教室指導事業 (集団)	13	137
4) 健康づくり事業 講演会	1	85
② 東御市健康保健課保健係		
1) 心の健康づくり推進事業	-	-
③ 東御市健康保健課地域推進係		
1) 新型コロナワクチン集団接種運営業務	13	978
④ 東御市福祉課高齢者係		
1) 介護予防把握事業(健脚度測定、ずく出し教室) 事務作業 60件	62	1049
2) 地域リハビリテーション活動支援事業 (出前講座)	31	293
3) 介護予防指導員派遣事業	5	161
4) オンライン通いの場アプリ「つどエール」利用契約業務	-	-
5) 多職種連携会議	4	160
⑤ 東御市子ども家庭支援課		
1) 運動指導等講師派遣業務	1	6

2) 信州型自然保育等にかかわる活動支援	5	201
3) 東御の子どもの元気な育ちを支える事業	12	156
⑥ 東御市企画政策部文化・スポーツ振興課		
1) 障がい児者の健康づくり運動実施支援	10	308
2) チャレンジデー	4	340
⑦ 東御市学校教育係		
1) 市内小中学校体力向上支援事業	10	314
2) 小学校新体力テスト集計分析業務	-	-
⑧ 東御市民病院庶務係		
1) みまき温泉診療所 リハビリ指導助手派遣	24	354
2) みまき温泉診療所 リハビリテーション業務	49	305
3) 東御市の各分野における推進・育成サポート業務	-	-
⑨ 東御市社会福祉協議会		
1) くる me	6	352
⑩ 社会福祉法人みまき福祉会 理学療法士派遣		
1) 温泉アクティブセンター	6	6
2) 特別養護老人ホームケアポートみまき	37	423
⑪ 立科町		
1) いきいきストレッチ教室	8	251
2) たてしな保育園運動あそび指導事業業務	26	828
3) 立科小学校運動能力向上業務	16	1338
⑫ Sany TOMI		
1) カヌー体験	5	59
2) 担当者会議	9	44
⑬ その他		
1) 東御市田楽平区健康サロン	10	75
2) 東御市北御牧地区友遊クラブ(みまきっ子体験クラブ)	3	204
<b>(3) 講演会、健康づくり教室等への講師派遣</b>	<b>計 108 件</b>	<b>計 4140 人</b>
1. 授業講師		
① 上田女子短期大学	4	58
② 佐久大学	18	474
③ 長野県立大学	2	60
④ 信州スポーツ医療福祉専門学校	30	1720
⑤ 長野救命医療専門学校	15	315
⑥ 東御清翔高等学校	3	36
2. 講演会、健康づくり教室講師：依頼に応じて随時対応（別表）	32	1407
<b>(4) 健康づくりに関する相談及び指導</b>	<b>計 83 件</b>	<b>計 2930 人</b>
1. 楽育ひろば tomi 事業		
里山探検活動「キラキラ」（2-3 歳児の親子活動）	20	359
里山探検活動「ドキドキ」（年中から小1 の子ども活動）	16	457
里山探検活動「ニコニコ」（親子自然体験活動）	17	953
里山探検事業デイキャンプ	1	113
小学生の里山探検	9	221
ボランティア研修会（安全管理講習、フィールドリーダー会議）	9	49
2. 「みんなの健康×スポーツ」実行委員会事業		
とうみユニバーサルスポーツクラブ「わくわくスポーツ」	8	395
ボッチャ審判等スキルアップ研修	1	27
東御市総合体育大会	1	130
とうみボッチャ 2024	1	226

## (5) 講演会、講習会、研究会等の開催

1. カヌー体験（市内教員向け）	6/28	20
2. 第24回高所トレーニング国際シンポジウム	11/11-12	350

## (6) 学術機関誌・一般啓発用資料他出版物等の発行

1. シニア世代の健幸・生活ガイド	WEB上でPDF公開
-------------------	------------

## (7) 身体教育医学に関する文献等の収集及び閲覧

1. 研究所図書室の充実	図書 1677 冊 報告書資料 80 冊
--------------	-------------------------

## (8) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 1. 各種団体役員等

- 1) 公益財団法人運動器の健康・日本協会理事（岡田真平）
- 2) 社会福祉法人みまき福祉会理事（岡田真平）
- 3) 身体教育医学研究所うなんん運営委員（岡田真平）
- 4) NPO 法人日本健康運動指導士会長野県支部長（岡田真平）
- 5) 一般社団法人日本転倒予防学会業務執行理事（岡田真平）
- 6) 一般社団法人日本体力医学会評議員・総務委員（岡田真平）
- 7) 信州公衆衛生学会理事・編集委員（岡田真平）
- 8) 日本運動疫学会理事（岡田真平）
- 9) 日本パラスポーツ学会理事（岡田真平）
- 10) 一般社団法人とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事（岡田真平）
- 11) 一般財団法人浅間山麓スポーツ医学研究所幹事（岡田真平）
- 12) 一般社団法人 Sany TOMI 副理事長（岡田真平）
- 13) 公益財団法人健康・体力づくり事業財団・指導者養成カリキュラム検討委員（岡田真平）
- 14) 高齢化社会一ウエルビーングマネジメントシステム国際標準化委員会委員（岡田真平）
- 15) とうみユニバーサルスポーツクラブ理事・NPO 法人東御市スポーツ協会評議員（岡田真平）
- 16) 御牧ふれあいの郷づくり協議会生活環境部会長（岡田真平）・青少年育成会副部会長（谷貴人）
- 17) 東御市スポーツ推進審議会委員（岡田真平）
- 18) みんなの健康×スポーツ実行委員（代表：岡田真平、委員：半田秀一・岡田佳澄）
- 19) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー長野県協議会副会長（半田秀一）
- 20) 日本障がい者スポーツ協会・指導者協議会トレーナー部会北信越ブロック代表（半田秀一）
- 21) 高所トレーニング環境システム研究会専門委員（半田秀一）
- 22) 東御市子育て審議会委員（谷貴人）
- 23) 東御市男女共同参画推進委員（谷貴人）
- 24) 楽育ひろば tomi（谷貴人）
- 25) 北御牧地区友遊クラブ実行委員（実行委員長：谷貴人、監事：岡田佳澄・堀口志穂）
- 26) 東信地区障がい者スポーツ指導員協議会監事（岡田佳澄）
- 27) 東御市社会教育委員（岡田佳澄）
- 28) 東御市いじめ・不登校対策連絡協議会委員（岡田佳澄）
- 29) 東御市立北御牧中学校学校運営委員（岡田佳澄）
- 30) 東御市生活支援協議体委員（横井佳代）

### 2. 書籍・新聞・雑誌等への掲載

- 1) FM 東御「ハレラジ体操」制作 オリジナルラジオ体操の動画撮影行う（信州民報、2023. 4. 28）
- 2) ワンポイント健康法「ずく」で元気が信州流！（信濃の国保、2023. 5 月号）
- 3) チャレンジデー「2023」参加 全国一斉開催は今回が最後（信州民報、2023. 5. 17）
- 4) GMO アスリートパーク湯の丸で大迫傑選手が市民ランナーを指導（YAHOO! ニュース、2023. 5. 20）
- 5) 市内体育館に「ポッチャ」の簡易コートを設置 気軽に体験を（信濃毎日新聞、2023. 5. 23）
- 6) 森林と標高差を活かした健康づくり 里山探検活動紹介（信濃毎日新聞、2023. 6. 27）
- 7) ありがとうチャレンジデー 結果と歴史を振り返る（市報とうみ、2023. 7 月号）
- 8) 湯の丸高原ホテル 埼玉の児童「ポッチャ」を体験（信濃毎日新聞、2023. 7. 25）
- 9) 日体大体操部の技に東御沸く 4年ぶりに市民との交流会も（信濃毎日新聞、2023. 9. 5）
- 10) 日体大体操部が市民と交流 体育館に子どもの歓声響く（信州民報 2023. 9. 5）
- 11) 「四季の森」で外遊び 子ども向け里山探検開催（週刊うえだ、2023. 9. 30）

- 12) みまき福祉会「知識豊富な高齢者雇用必要」取り組みを発表（介護保険情報、2023.10.20）
- 13) 市立全保育園にポッチャ用具一式寄贈（信濃毎日新聞、2023.10.20）
- 14) 贈られた用具で「ポッチャ」楽しむ園児（信州民報、2023.10.21）
- 15) 東御でモデル事業 理学療法士の認定制度創設目指す（信濃毎日新聞、2023.10.26）
- 16) 飯島評議員「老化と寿命の謎を探る」記事掲載（信濃毎日新聞、2023.11.6）
- 17) ポッチャリーグ戦開幕へ 競技の普及目指し創設（信濃毎日新聞、2023.11.7）
- 18) 第24回高所トレーニング国際シンポジウム始まる 大会長インタビュー（スポーツメディスン、2023.No.255）
- 19) スポーツで地域振興 東御市「優良自治体」スポーツ庁長官表彰（信濃毎日新聞、2023.11.11）
- 20) 湯の丸高原で国際シンポ開催 高所トレーニング効果巡り討論（信濃毎日新聞、2023.11.12）
- 21) しんたい応援者土井様 手術後、松本マラソンを完走（信濃毎日新聞、2023.11.14）
- 22) 東御で初開幕 リーグ戦でナイスポッチャ！（信濃毎日新聞、2023.11.18）
- 23) 母子の健康増進 東御で情報交換 市内外の活動共有（信濃毎日新聞、2023.12.8）
- 24) 技能実習生の外国人に思い出を 餅つきやポッチャ体験（信濃毎日新聞、2023.12.14）
- 25) 三溝理事 功労者で「5年度文部科学大臣表彰」受賞（信州民報、2023.12.23）
- 26) 「とうみポッチャリーグ」初開催 市内8チームが参加（信州民報、2024.1.23）
- 27) 特集「とうみの冬を歩こう」・上田高校硬式野球部が湯の丸で栄養セミナー（市報とうみ、2月号）
- 28) 東御市と県立大が包括協定結ぶ 健康増進や教育 連携を確認（信濃毎日新聞、2024.2.7）
- 29) 健康づくり推進 東御市が県立大と協定（読売新聞、2024.2.9）
- 30) 東御市と県立大が包括協定 食・健康・教育・生涯学習など連携・協力（信州民報、2024.2.14）
- 31) 高齢者センター（ふれあいとうみ）開所 地域包括ケアの拠点（信州民報、2024.2.28）
- 32) NPO法人D-SHIP32 東御市へスポーツ車椅子8台貸与（信州民報、2024.3.9）
- 33) ポッチャ挑む世界 相沢さん 県勢初！強化指定選手に（信濃毎日新聞、2024.3.28）

## 【別表】

### （3）講演会、健康づくり教室等への講師派遣

#### 2. 講演会、健康づくり教室講師 の詳細

実施日	依頼元・依頼事業	場所	内容	担当
<b>【市内】</b>				
1 2023/6/5	東御市社会福祉協議会/福祉団体交流会実行委員会・東御市内福祉団体交流会	東御中央公園第2体育館	福祉団体ポッチャ交流会	半田・佳澄
2 2023/7/26	おひさま子ども園	四季の森	里山遊び	谷
3 2023/8/26	北御牧中学校・北御牧中学校キャリア教育	北御牧中学校	キャリア教育	半田
4 2023/9/7	北御牧地区健康づくり推進委員会	北御牧公民館	北御牧地区健康づくり推進員学習会「太極拳」	横井
5 2023/9/30	和地区健康づくり推進委員会	和コミュニティセンター	ボールを使ったウォーキング	岡田
6 2023/10/28	田中地区健康づくり推進委員会	田中商店街周辺・中央公民館	田中地区健康づくり推進員会「ウォーキング教室」	横井
7 2023/11/27	東御市民生児童委員会活動報告会全体会議	総合福祉センター	東御市民生児童委員会活動報告会助言	岡田
8 2023/12/12	東御市身体障害者福祉協会女性部	総合福祉センター	骨ストレッチとフレイル予防	横井
<b>【県内】</b>				
1 2023/6/13	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	Zoom	オーラルフレイル予防体操動画に関する相談	横井
2 2023/6/20	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース		オーラルフレイル予防体操動画に関する提案を提出	横井
3 2023/6/28	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 中塩田小学校	佳澄
4 2023/7/13	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	Zoom	オーラルフレイル対策タスクフォースWG	横井
5 2023/7/18	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 川西小学校	佳澄
6 2023/7/24	湯の丸高原ホテル・高原学習ポッチャ体験プログラム	湯の丸高原ホテル	高原学習ポッチャ体験 川越小学校	佳澄
7 2023/7/25	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース		オーラルフレイル予防体操動画に関する提案を提出	横井
8 2023/8/3	長野県健康福祉部健康増進課・オーラルフレイル対策タスクフォース	長野市内	オーラルフレイル予防体操動画撮影	横井
9 2023/9/9	公財長野県長寿社会開発センター・2023「信州ねんりんピック」実行委員会事務局	丸子文化会館レオスホール	2023信州ねんりんピック「はれラジ体操」の紹介と実演	横井
10 2023/10/20	子どもが育つ地域共育フォーラム	佐久平交流センター	心身を育む運動遊び	岡田
11 2023/11/15	立科町健康づくり講演会	老人福祉センター	これからつくる私の体づくり	半田
12 2023/12/10	青年海外協力隊長野県OB会	広瀬まなびや	ポッチャ競技の運営	岡田佳
13 2024/12/12	介護予防講座 カラダを育むために	老人福祉センター	カラダを育むために	岡田
<b>【県外】</b>				
1 2023/5/12	兵庫県小野市社会福祉協議会・地域包括ケア研修会	オンライン	地域と共に・皆で創る地域包括ケアシステム	岡田
2 2023/7/12	日本体育大学・野外活動実習	芸術むら公園明神池	野外活動実習	谷 他
3 2023/7/28	東京大学・野外活動実習	芸術むら公園明神池	野外活動実習	谷・岡田
4 2023/8/1	ウェルビーイングマネジメントシステム検討	WEB会議	高齢社会対応標準化国内委員会	岡田
5 2023/8/24	日本パラスポーツ協会・障がい者スポーツ指導者協議会	長野県障害者福祉センター	第1回トレーナー部会	半田
6 2023/9/2	NPO法人日本健康運動指導士会・2023年度健康運動指導士更新必修講座	福岡市南近代ビル	運動指導における社会的つながりの重要性	岡田
7 2023/9/28	日本ライフスタイル医学会・オープンニングシンポジウム	オンライン	長寿県・長野の取組と課題（座長）	岡田
8 2023/10/31	富山県入善町・入善町介護予防講演会	入善町うるおい館	これからの介護予防・フレイルを予防して生涯現役を目指す	岡田
9 2023/12/2	日本パラスポーツ協会・ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	長野県障害者福祉センター	ジャパン・ライジングスター・プロジェクト	半田
10 2023/12/2	日本健康運動指導士会・2023年度健康運動指導士更新必修講座	四日市商工会議所	運動指導における社会的つながりの重要性	岡田
11 2024/1/30	東京大学教育学部	東京大学教育学部	地域におけるスポーツ指導・保健体育科教育法(実践)A	岡田

## 2. 役員会等に関する事項

### 【理事会、評議員会等】

令和5年 6月3日(土)	<p>第1回理事会(ケアポートみまき:理事9名、監事2名、名誉所長1名、事務局2名)</p> <p>決議事項 第1号議案:令和4年度事業報告及び決算について 第2号議案:令和5年度定時評議員会の招集について</p> <p>報告事項 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 給与規程の改定に関する専決処分 評議員の選任 御寄附の報告 第9回しんたい学会開催報告 日本財団助成事業延長 令和5年度長野県元気づくり支援金 「第24回高所トレーニング国際シンポジウム」採択</p>
6月20日(火)	<p>定時評議員会(ケアポートみまき:評議員14名、理事4名、監事1名、事務局3名)</p> <p>決議事項 第1号議案:令和4年度事業報告及び決算の承認</p> <p>報告事項 令和5年度事業計画・予算と役職員の体制 第9回しんたい学会開催報告 令和5年度長野県元気づくり支援金 「第24回高所トレーニング国際シンポジウム」採択</p>
10月28日(土)	<p>第2回理事会(湯の丸高原ホテル:理事9名、監事1名、名誉所長1名、事務局1名)</p> <p>決議事項 第1号議案:商標登録「健脚度」の権利移転について 第2号議案:令和5年度第1次補正予算について</p> <p>報告事項 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和5年度事業中間報告及び上半期決算報告 各種事業の進捗状況 ホームページの運営状況 御寄附の報告</p>
令和6年 2月24日(土)	<p>第3回理事会(市総合福祉センター:理事10名、監事1名、名誉所長1名、事務局1名)</p> <p>決議事項 第1号議案:第4期中期計画について 第2号議案:令和6年度事業計画・予算について 第3号議案:資金調達及び設備投資の見込みについて</p> <p>報告事項 前回議事報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告 令和5年度事業中間報告及び決算見込み ホームページの運営状況 御寄附の報告 認定スクールトレーナー制度の進捗状況</p>

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

No.	日程	職務内容	担当理事
1	4月03日(月)	辞令交付、年度始め式	田丸・井出・翠川・岡田
2	4月23日(日)	日本体育大学杉田正明教授との懇談	田丸・岡田
3	4月25日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
4	5月17日(水)	東方久男顧問公認会計士会計指導	翠川・岡田
5	5月25日(木)	法人決算監査	井出・翠川・岡田
6		業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
7	5月27日(土)	USOPC Randy Willber氏 湯の丸視察対応	岡田
8	5月29日(月)	日本財団公益事業部・枡方課長ほか2名来訪対応	翠川・岡田
9	5月31日(水)	笹川スポーツ財団チャレンジデー	田丸・井出・翠川・岡田
10	6月01日(木)	B&G財団「子ども第三の居場所」助成決定書授与式	田丸・井出・岡田
11	6月02日(金)	業務執行理事会	田丸・井出・翠川・岡田
12	6月03日(土)	令和5年度第1回理事会	田丸・井出・翠川・岡田
13	6月05日(月)	(一社) Sany TOMI 理事会	岡田
14	6月08日(木)	東御市議会全員協議会決算説明	田丸・井出・翠川・岡田
15		社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
16	6月09日(金)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
17	6月20日(火)	令和5年度定時評議員会	田丸・井出・翠川・岡田
18	6月22日(木)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション総会	田丸・岡田
19	6月27日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
20	7月07日(金)	身体教育医学研究所うんなん運営委員会(岩橋院長参加)	井出・岡田
21	7月24日(月)	島根県雲南市石飛厚志市長来訪	田丸・井出・翠川・岡田
22	8月07日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
23	9月7-8日(木-金)	東京健康リハビリテーション総合研究所研修合宿	田丸・翠川・岡田
24	9月11日(月)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
25	10月05日(木)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田
26	10月10日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
27	10月28日(土)	令和5年度第2回理事会	田丸・井出・翠川・岡田
28	11月7-8日(水)	島根県雲南市吉山治副市長来訪	田丸・井出・翠川・岡田
29	11月09日(木)	(一社)とうみ湯の丸高原スポーツコミッション理事会	田丸・岡田
30	11月11-2日(日)	第24回高所トレーニング国際シンポジウム	田丸・岡田
31	11月16日(木)	母子健康推進ネットワーク懇話会	田丸・井出・翠川・岡田
32	11月19日(日)	職員採用最終面接	田丸・岡田
33	11月21日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
34	11月26日(日)	社会福祉法人みまき福祉会事業所報告会	翠川・岡田
35	12月15日(金)	桂川保彦顧問来訪	翠川・岡田
36	12月26日(火)	業務執行理事会・研究所員全体会議・忘年会	田丸・井出・翠川・岡田
	2024年		
37	1月04日(木)	仕事始め式	田丸・井出・翠川・岡田
38	1月11日(木)	(一社) コミュニティ&コミュニティホスピタル協会来訪	翠川・岡田
39	1月26日(金)	身体教育医学研究所うんなん運営委員会(齊藤理事参加)	岡田
40	2月16日(金)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
41	2月23日(金)	業務執行理事会	田丸・井出・翠川・岡田
42	2月24日(土)	令和5年度第3回理事会	田丸・井出・翠川・岡田
43	3月21日(木)	業務執行理事会・研究所員全体会議	田丸・井出・翠川・岡田
44	3月27日(水)	社会福祉法人みまき福祉会理事会	翠川・岡田

### 3. 各年度末の正味財産、経常収益、経常費用、人件費率、固定資産の推移

図1 正味財産期末残高の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

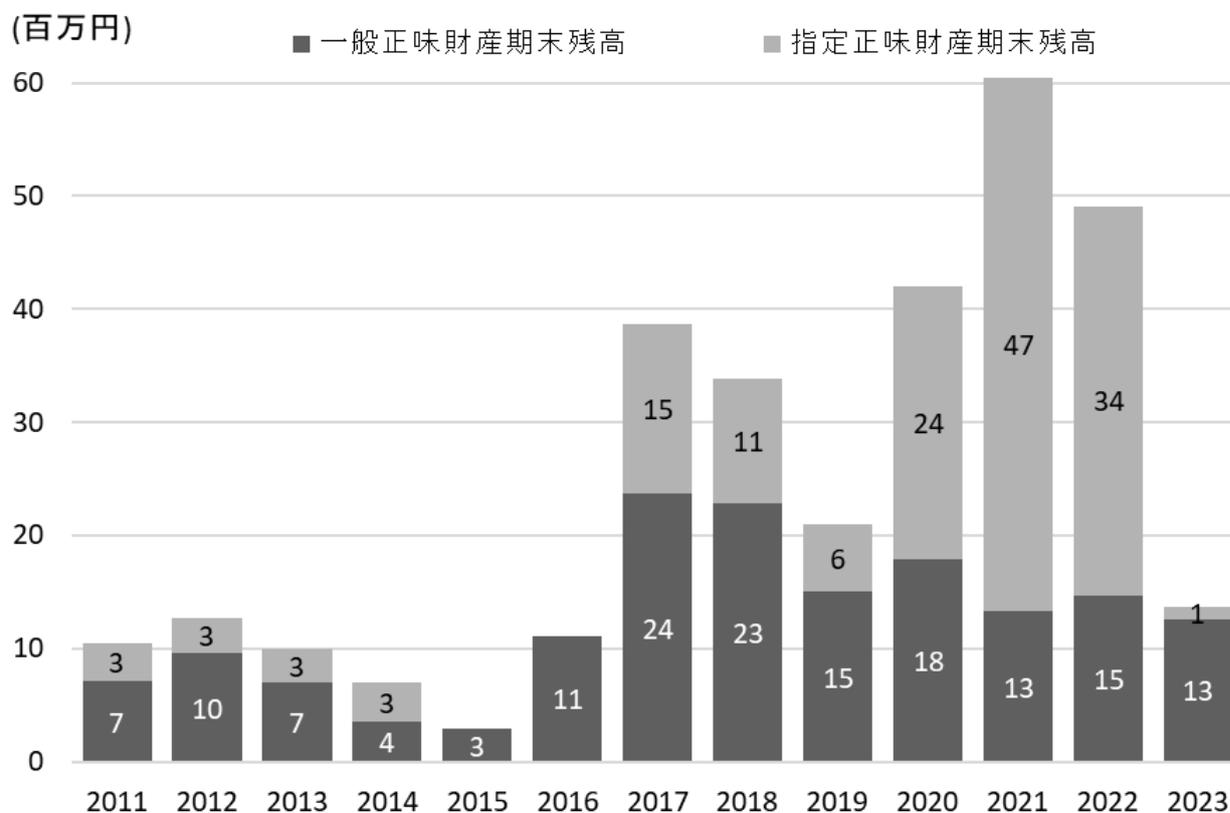


図2 経常収益の推移①（公益目的事業区分別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

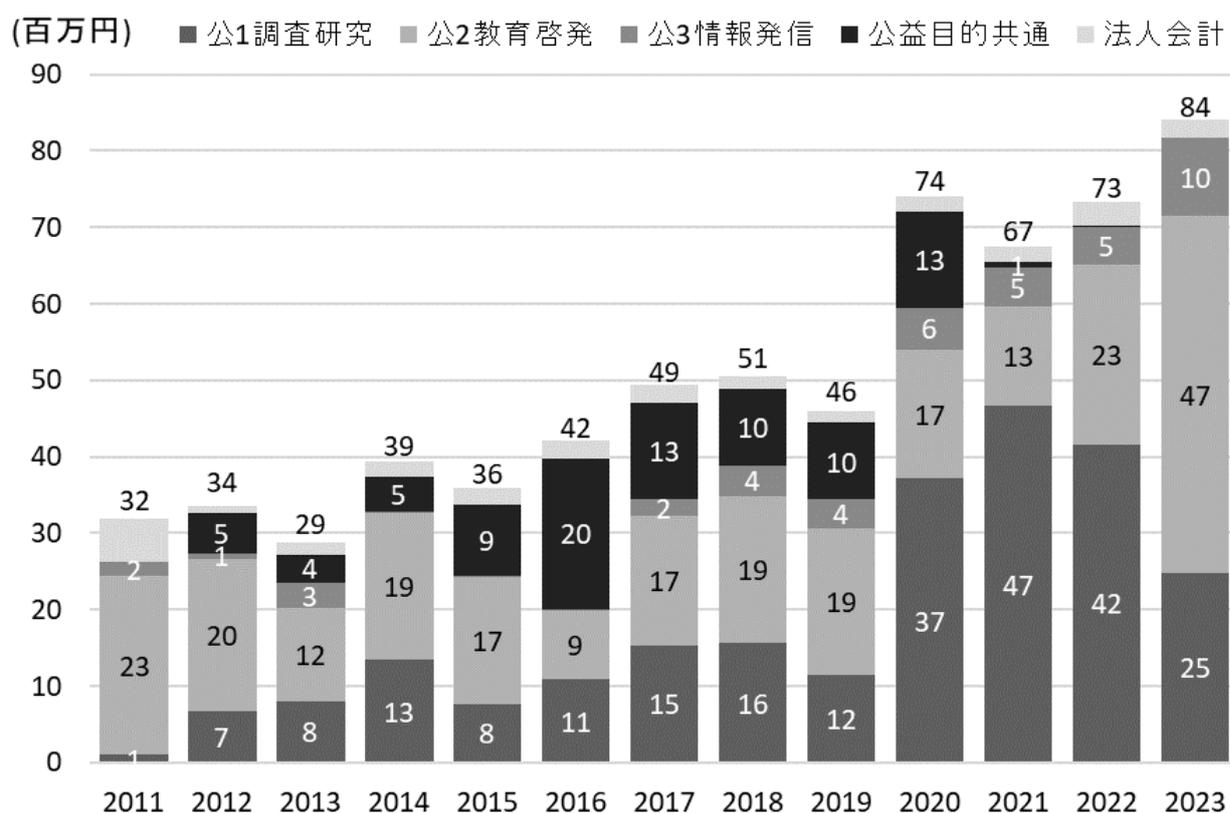


図3 経常収益の推移②（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

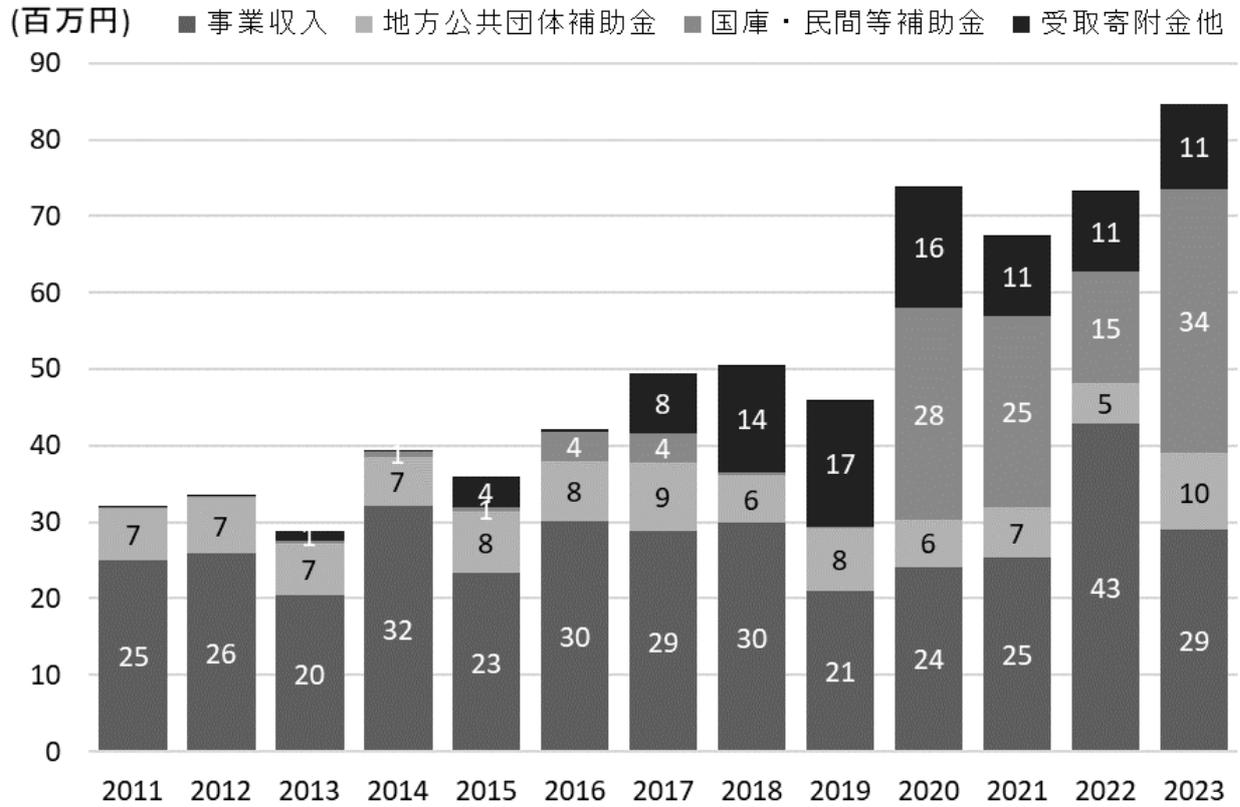


図4 経常費用および人件費率の推移（大科目別、公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

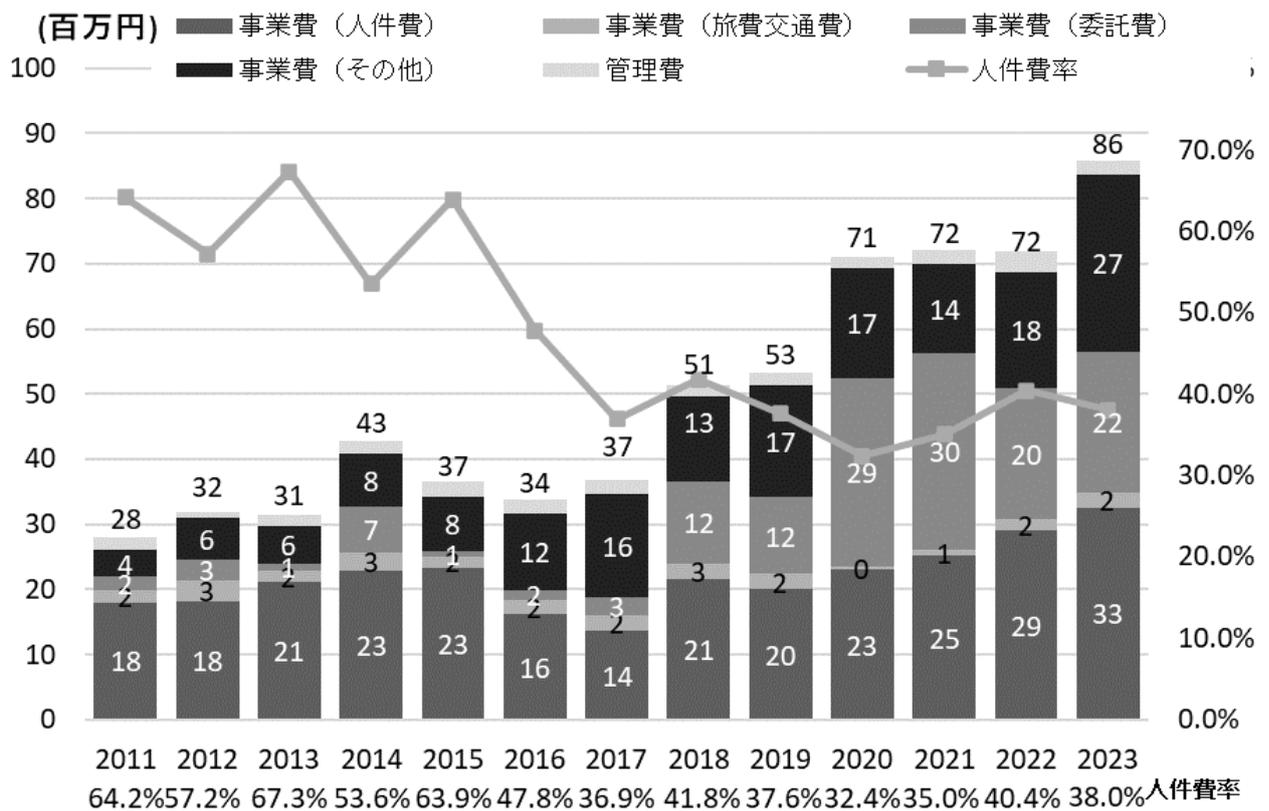


図5 固定資産の推移（公益認定後の2011年度以降、単位：百万円）

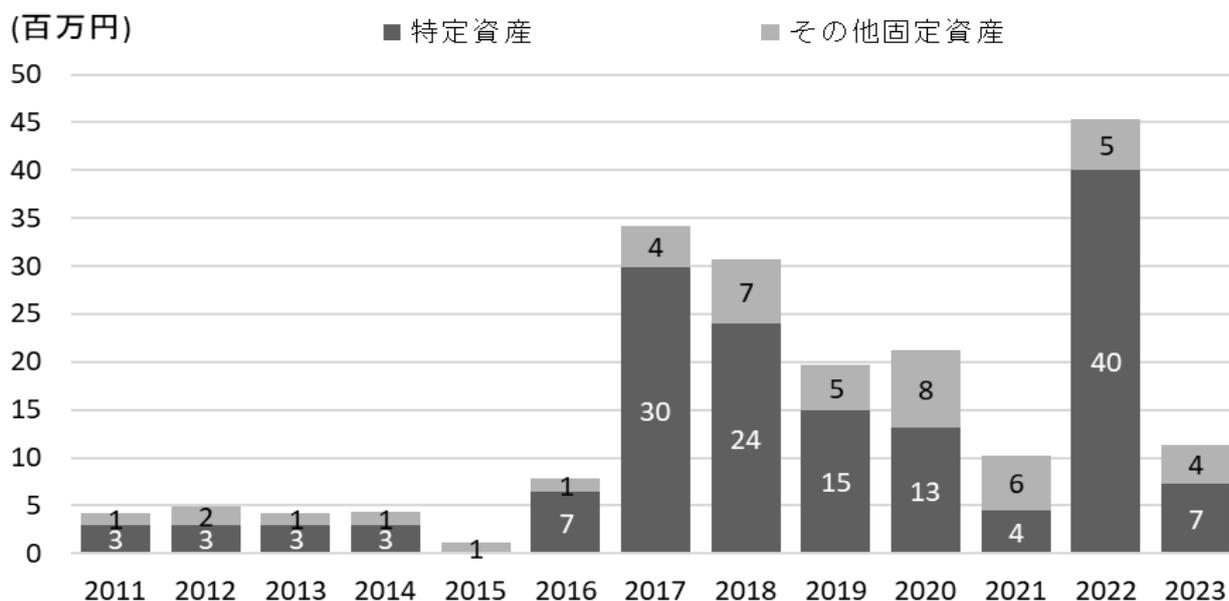


表 各年度で特記すべき規模（100万円以上）の補助金・助成金・支援金・委託費・寄附金等

年度	※毎年の補助・委託は省略		長野県	国	民間	寄附
	東御市 健康福祉関係 (補助金以外)	高地関係 (外部含む)				
2011			元気づくり、 新しい公共			
2012			元気づくり、 新しい公共			
2013	健康課題調査	施設誘致	元気づくり			
2014	健康課題調査	施設誘致				
2015		施設誘致				
2016	子ども研究	ﾌﾟﾛﾓｰｼﾞｮﾝ		厚労省支援事業	日本財団	
2017		ﾌﾟﾛﾓｰｼﾞｮﾝ、 国際ｼﾝﾎﾟ	元気づくり		健体財団	戸部様、 匿名遺贈受付
2018		日本水泳連盟				戸部様、 匿名遺贈支出
2019		日本水泳連盟	元気づくり			戸部様、 匿名遺贈支出
2020	健康づくり動画	日本水泳連盟、 モニタリング	元気づくり	ｽﾎﾟｰﾂ庁支援、 経産省給付金、 中小庁給付金	日本財団、 B&G財団、 健体財団	戸部様、 匿名遺贈支出
2021	ワクチン接種	インナー施策、 モニタリング	元気づくり		日本財団、 B&G財団	戸部様
2022	ワクチン接種				日本財団、 B&G財団	戸部様
2023	ワクチン接種		元気づくり		日本財団	戸部様

### Ⅲ. 法人の課題

改善すべき点や今後の方向性など法人の課題について、直近の事業の状況や近年の社会情勢もふまえて、大きく3つ（A：連携、B：財源、C：構想）に分けて整理したうえで、以下の通り箇条書きで示す。

- A) **【連携】日頃から、研究所内、法人組織内、関連機関との円滑な連携で活動が進めやすい環境を整える。**
- 研究所の業務形態は、調査研究、教育啓発、情報発信、法人管理運営と大きく4つに分かれ、研究部、指導部、総務部それぞれが役割分担しながら、これらの取り組みを進めている。また、活動する分野についても、子どもの育ち、心身の健康、みんなのスポーツ、と幅広いため、どうしても所員個々の分業で進めざるを得ず、各所員への負担が大きくなりやすい。月例ミーティングやメール・LINE等での業務連絡・情報共有は行っているが、所内でより連携を深めて事業に取り組めるように、全体の業務負担を軽減しながら時間的な余裕を作っていく必要がある。
  - 長年、研究所活動の核を担ってきた指導部長が2022年度末に退任し、各所員への負担が大きい状況が続いたが、事業継続のために適任の後任者を2024年度採用できたことから、再度、体制整備を図る。
  - 法人組織内の客員研究員や役員等と、不定期であっても情報共有や意見交換ができる機会を定着させる。そのことにより、研究所に関わる貴重な人材から、活動の充実に力添えを受けられる流れを作る。
  - 研究所うんなん、東京健康リハ総研、その他つながりの深い関係機関・団体・企業等との連携についても、これまで以上に協働を意識し、信頼関係を高めながらより大きな成果が得られるように努める。
- B) **【財源】公益目的事業の持続可能性を高めるために、大口の収益に依存し過ぎない安定財源を構築する。**
- 法人存続要件の正味財産300万円を下回った2015年度以降、外部資金獲得を含んだ様々な自助努力と関連機関の支援、そして多額のご寄附等によって、年度ごとの変動は大きいものの、結果的に継続して一定以上の正味財産を維持できてきた。しかし、継続して得られる保証がない大口の財源は不安定要因でもあることから、小口でも多数の支援を継続して受けられるような仕組み（会員制度等）を構築する。
  - 日本財団助成事業の完了に伴って指定正味財産が無くなったことから、正味財産は大きく減少した。
  - 単体では収支バランスが取りにくい事業の多くは存在意義の大きな取り組みであり、周囲の理解と協力が得られやすいことから、事業継続のための支援を受けられるように、より積極的に働きかけていく。
- C) **【構想】Society 5.0やポストコロナ等の流れから、次期(第4期)中期計画(2024~2027)に繋げる。**
- 「情報社会」の次の新たな社会のあり様として、「仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会」と定義されるSociety 5.0を見据えて、今後予測される活動形態の変容を想定しながら、次期中期計画の4年間の取り組みに繋げていく。
  - 新型コロナウイルス感染症拡大によって経験した社会の大きな変化をふまえて、これから起こり得ることに想像力を働かせながら、今後改善・解決すべき新たな社会課題に積極的に取り組んでいく。
  - デジタルの発達が進むがゆえのアナログの価値や、リアルな場・体験の重要性等、関わりのある活動の中で普遍的な価値が見いだせるものを研究所の取り組みの強みとして、理解者・支援者を増やしていく。



【左】一般社団法人日本経済団体連合会より <https://www.keidanren.or.jp/policy/society5.0.html>

【右】内閣府 > 政策 > 科学技術政策 > Society 5.0 より [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/)

# 決算報告書

第 17 期

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月 31日

公益財団法人 身体教育医学研究所

## 貸借対照表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和6年 3月31日現在 (単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
〔資産の部〕			
【流動資産】			
現金預金	2,516,160	901,831	1,614,329
未収金	7,196,283	9,388,404	△ 2,192,121
流動資産合計	9,712,443	10,290,235	△ 577,792
【固定資産】			
(特定資産)			
公益目的事業積立資産	3,000,000	3,000,000	0
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,026,000	0	1,026,000
つながり支援普及事業積立資産	0	34,382,902	△ 34,382,902
退職給付引当資産	3,187,962	2,687,067	500,895
特定資産合計	7,213,962	40,069,969	△ 32,856,007
(その他固定資産)			
車両運搬具	4	258,176	△ 258,172
什器備品	3,469,972	4,547,836	△ 1,077,864
ソフトウェア	322,630	414,810	△ 92,180
権利	387,633	0	387,633
その他固定資産合計	4,180,239	5,220,822	△ 1,040,583
固定資産合計	11,394,201	45,290,791	△ 33,896,590
資産合計	21,106,644	55,581,026	△ 34,474,382
〔負債の部〕			
【流動負債】			
未払金	3,490,279	3,345,384	144,895
前受金	6,000	0	6,000
預り金	773,902	426,142	347,760
流動負債合計	4,270,181	3,771,526	498,655
【固定負債】			
退職給付引当金	3,187,962	2,687,067	500,895
固定負債合計	3,187,962	2,687,067	500,895
負債合計	7,458,143	6,458,593	999,550
〔正味財産の部〕			
【指定正味財産】			
民間補助金	0	34,382,902	△ 34,382,902
寄附金	1,026,000	500,000	526,000
指定正味財産合計	1,026,000	34,882,902	△ 33,856,902
(うち特定資産への充当額)	(1,026,000)	(34,382,902)	33,356,902
【一般正味財産】	12,622,501	14,239,531	△ 1,617,030
(うち特定資産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正味財産合計	13,648,501	49,122,433	△ 35,473,932
負債及び正味財産合計	21,106,644	55,581,026	△ 34,474,382

# 令和5年度正味財産増減計算書

公益財団法人身体教育医学研究所

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 1. 経常増減の部			
2 (1) 経常収益			
3 特定資産運用益	73	38	35
4 特定資産受取利息	73	38	35
5 事業収益	28,941,361	42,873,571	△ 13,932,210
6 受託協力事業収益	23,391,445	34,331,090	△ 10,939,645
7 講師派遣事業収益	4,847,288	7,681,830	△ 2,834,542
8 研究会等開催事業収益	493,000	194,892	298,108
9 出版物用発刊事業収益	75,291	55,717	19,574
10 その他事業収益	134,337	610,042	△ 475,705
11 受取補助金等	44,561,902	19,874,098	24,687,804
12 受取地方公共団体補助金	10,068,000	5,350,000	4,718,000
13 受取民間補助金	500,000	1,707,000	△ 1,207,000
14 受取補助金等振替額	33,993,902	12,817,098	21,176,804
15 受取寄附金	10,614,748	10,626,700	△ 11,952
16 受取寄附金	10,500,748	10,626,700	△ 125,952
17 受取寄附金等振替額	114,000	0	114,000
18 雑収益	154	329	△ 175
19 受取利息	154	329	△ 175
20 <b>経常収益計</b>	<b>84,118,238</b>	<b>73,374,736</b>	<b>10,743,502</b>
21 (2) 経常費用			
22 事業費	83,631,592	68,717,083	14,914,509
23 給料手当	17,947,887	17,218,947	728,940
24 臨時雇賃金	9,469,163	6,952,587	2,516,576
25 退職給付費用	1,220,895	1,432,713	△ 211,818
26 法定福利費	3,862,404	3,396,363	466,041
27 福利厚生費	93,640	68,254	25,386
28 旅費交通費	2,244,011	1,663,964	580,047
29 通信運搬費	93,000	149,519	△ 56,519
30 減価償却費	1,434,787	2,626,609	△ 1,191,822
31 消耗什器備品費	0	1,111,235	△ 1,111,235
32 消耗品費	315,472	710,140	△ 394,668
33 書籍費	75,085	105,520	△ 30,435
34 修繕費	327,014	355,998	△ 28,984
35 印刷製本費	1,915,608	246,990	1,668,618
36 燃料費	615,499	731,476	△ 115,977
37 光熱水料費	757,000	543,000	214,000
38 賃借料	15,968,900	890,080	15,078,820
39 保険料	307,899	394,461	△ 86,562
40 諸謝金	2,531,170	5,092,791	△ 2,561,621
41 租税公課	1,347,600	2,028,300	△ 680,700
42 支払負担金	314,990	541,512	△ 226,522
43 会議費	202,238	105,068	97,170
44 委託費	21,706,280	20,141,277	1,565,003
45 雑費	881,050	2,210,279	△ 1,329,229
46 管理費	2,103,676	3,194,758	△ 1,091,082
47 役員報酬	135,300	154,300	△ 19,000
48 給料手当	480,000	480,000	0
49 臨時雇賃金	1,053,805	2,063,415	△ 1,009,610
50 法定福利費	148,456	293,752	△ 145,296
51 会議費	28,766	2,283	26,483
52 旅費交通費	141,300	103,840	37,460
53 通信運搬費	0	5,180	△ 5,180
54 租税公課	450	0	450
55 賃借料	0	500	△ 500
56 雑費	115,599	91,488	24,111
57 <b>経常費用計</b>	<b>85,735,268</b>	<b>71,911,841</b>	<b>13,823,427</b>
58 評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
59 評価損益等計	0	0	0
60 当期経常増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
61 2. 経常外増減の部			
62 (1) 経常外収益			
63 経常外収益計	0	0	0
64 (2) 経常外費用			
65 経常外費用計	0	0	0
66 当期経常外増減額	0	0	0
67 当期一般正味財産増減額	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925
68 一般正味財産期首残高	14,239,531	13,276,636	962,895
69 一般正味財産期末残高	12,622,501	14,739,531	△ 2,117,030
70 II 指定正味財産増減の部			
71 受取民間補助金等	△ 389,000	0	△ 389,000
72 受取民間補助金返還額	△ 389,000	0	△ 389,000
73 受取寄附金	640,000	0	640,000
74 受取寄附金	640,000	0	640,000
75 一般正味財産への振替額	△ 34,107,902	△ 12,817,098	△ 21,290,804
76 一般正味財産振替民間補助金	△ 33,993,902	0	△ 33,993,902
77 一般正味財産振替寄付金	△ 114,000	0	△ 114,000
78 当期指定正味財産増減額	△ 33,856,902	△ 12,817,098	△ 21,039,804
79 指定正味財産期首残高	34,882,902	47,200,000	△ 12,317,098
80 指定正味財産期末残高	1,026,000	34,382,902	△ 33,356,902
81 III 正味財産期末残高	13,648,501	49,122,433	△ 35,473,932

令和5年度正味財産増減計算書内訳表

公益財団法人身体教育医学研究所

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
特定資産運用益	9	51	0	13	73	0	73	38	35	0	*
特定資産受取利息	9	51		13	73	0	73	38	35	0	*
事業収益	14,391,496	11,634,593	452,791	123,337	26,602,217	2,339,144	28,941,361	42,873,571	△ 13,932,210	26,523,000	109%
受託協力事業収益	14,303,496	6,748,805			21,052,301	2,339,144	23,391,445	34,331,090	△ 10,939,645	21,707,000	108%
講師派遣事業収益	88,000	4,757,788		1,500	4,847,288		4,847,288	7,681,830	△ 2,834,542	4,438,000	109%
研究会等開催事業収益		128,000	365,000		493,000		493,000	194,892	298,108	300,000	*
出版物用発刊事業収益			75,291		75,291		75,291	55,717	19,574	11,000	684%
その他事業収益			12,500	121,837	134,337		134,337	610,042	△ 475,705	67,000	*
受取補助金等	0	34,843,902	9,718,000	0	44,561,902	0	44,561,902	19,874,098	24,687,804	44,950,902	99%
受取地方公共団体補助金		350,000	9,718,000		10,068,000		10,068,000	5,350,000	4,718,000	10,068,000	100%
受取民間補助金		500,000			500,000		500,000	1,707,000	△ 1,207,000	500,000	100%
受取補助金等振替額		33,993,902			33,993,902		33,993,902	12,817,098	21,176,804	34,382,902	99%
受取寄附金	10,480,000	114,000	0	20,748	10,614,748	0	10,614,748	10,626,700	△ 11,952	10,997,000	97%
受取寄附金	10,480,000			20,748	10,500,748		10,500,748	10,626,700	△ 125,952	10,997,000	95%
受取寄附金振替額		114,000			114,000		114,000	0	114,000	0	*
雑収益	0	0	0	0	0	154	154	329	△ 175	2,000	8%
利子収益					0	154	154	329	△ 175	2,000	8%
経常収益計	24,871,505	46,592,546	10,170,791	144,098	81,778,940	2,339,298	84,118,238	73,374,736	10,743,502	82,472,902	102%
(2) 経常費用											
事業費	24,876,468	45,733,473	10,223,846	2,797,805	83,631,592		83,631,592	68,717,083	14,914,509	86,315,000	97%
給料手当	6,370,416	8,435,780	3,141,691		17,947,887		17,947,887	17,218,947	728,940	17,678,000	102%
臨時雇賃金	5,073,215	4,395,948			9,469,163		9,469,163	6,952,587	2,516,576	8,554,000	111%
退職給付費用	282,748	698,147	240,000		1,220,895		1,220,895	1,432,713	△ 211,818	720,000	170%
法定福利費	1,612,133	1,807,682	442,589		3,862,404		3,862,404	3,396,363	466,041	3,855,000	100%
福利厚生費				93,640	93,640		93,640	68,254	25,386	262,000	36%
旅費交通費	459,528	1,148,642	635,841		2,244,011		2,244,011	1,663,964	580,047	2,021,000	111%
通信運搬費	692	13,620	1,480	77,208	93,000		93,000	149,519	△ 56,519	117,000	79%
減価償却費	596,522	284,226		554,039	1,434,787		1,434,787	2,626,609	△ 1,191,822	1,957,000	73%
消耗什器備品費					0		0	1,111,235	△ 1,111,235	39,000	0%
消耗品費	90,311	81,015		144,146	315,472		315,472	710,140	△ 394,668	240,000	131%
書籍費		26,180		48,905	75,085		75,085	105,520	△ 30,435	27,000	278%
修繕費		3,476		323,538	327,014		327,014	355,998	△ 28,984	403,000	81%
印刷製本費	660,000	316,098	939,510		1,915,608		1,915,608	246,990	1,668,618	2,138,000	90%
燃料費		615,499			615,499		615,499	731,476	△ 115,977	691,000	89%
光熱水料費				757,000	757,000		757,000	543,000	214,000	757,000	100%
賃借料		15,636,560	250,000	82,340	15,968,900		15,968,900	890,080	15,078,820	16,283,000	98%
保険料	16,600	291,299			307,899		307,899	394,461	△ 86,562	344,000	90%
諸謝金	434,900	524,900	1,460,000	111,370	2,531,170		2,531,170	5,092,791	△ 2,561,621	2,495,000	101%

科目	公益目的事業会計					法人会計	合計 (A)	前年度 決算(B)	差異 (A-B)	当年度 予算(C)	遂行率 (A/C)
	公1:調査研究	公2:教育啓発	公3:情報発信	共通	小計						
42 租税公課	655,852	636,065	20,578	35,105	1,347,600		1,347,600	2,028,300	△ 680,700	1,031,000	131%
43 支払負担金	161,600	153,390			314,990		314,990	541,512	△ 226,522	194,000	162%
44 会議費	90,462	104,226	7,550		202,238		202,238	105,068	97,170	65,000	311%
45 委託費	8,340,000	9,722,206	3,073,560	570,514	21,706,280		21,706,280	20,141,277	1,565,003	26,061,000	83%
46 雑費	31,489	838,514	11,047		881,050		881,050	2,210,279	△ 1,329,229	383,000	230%
47 管理費						2,103,676	2,103,676	3,194,758	△ 1,091,082	3,249,000	65%
48 役員報酬						135,300	135,300	154,300	△ 19,000	143,000	95%
49 給料手当						480,000	480,000	480,000	0	480,000	100%
50 臨時雇賃金						1,053,805	1,053,805	2,063,415	△ 1,009,610	2,168,000	49%
51 法定福利費						148,456	148,456	293,752	△ 145,296	155,000	*
52 会議費						28,766	28,766	2,283	26,483	30,000	96%
53 旅費交通費						141,300	141,300	103,840	37,460	148,000	95%
54 通信運搬費						0	0	5,180	△ 5,180	5,000	0%
55 租税公課						450	450	0	450	1,000	45%
56 賃借料						0	0	500	△ 500	0	*
57 雑費						115,599	115,599	91,488	24,111	119,000	97%
58 経常費用計	24,876,468	45,733,473	10,223,846	2,797,805	83,631,592	2,103,676	85,735,268	71,911,841	13,823,427	89,564,000	96%
59 評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,963	859,073	△ 53,055	△ 2,653,707	△ 1,852,652	235,622	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925	△ 7,091,098	23%
60 評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
61 当期経常増減額	△ 4,963	859,073	△ 53,055	△ 2,653,707	△ 1,852,652	235,622	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925	△ 7,091,098	23%
62 2. 経常外増減の部											
63 (1) 経常外収益											
64 経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
65 (2) 経常外費用											
66 経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
67 当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
68 当期一般正味財産増減額	△ 4,963	859,073	△ 53,055	△ 2,653,707	△ 1,852,652	235,622	△ 1,617,030	1,462,895	△ 3,079,925	△ 7,091,098	23%
69 一般正味財産期首残高							14,239,531	13,276,636	962,895	14,739,531	97%
70 一般正味財産期末残高							12,622,501	14,739,531	△ 2,117,030	7,648,433	165%
71 II 指定正味財産増減の部											
72 受取補助金等	0	△ 389,000	0	0	△ 389,000	0	△ 389,000	0	△ 389,000	0	*
73 受取民間補助金返還額		△ 389,000			△ 389,000		△ 389,000	0	△ 389,000	0	*
74 受取寄附金	0	640,000	0	0	640,000	0	640,000	0	640,000	0	*
75 受取寄附金		640,000			640,000		640,000	0	640,000	0	*
76 一般正味財産への振替額	0	△ 34,107,902	0	0	△ 34,107,902	0	△ 34,107,902	△ 12,817,098	△ 21,290,804	△ 34,382,903	99%
77 一般正味財産振替民間補助金		△ 33,993,902			△ 33,993,902		△ 33,993,902				
78 一般正味財産振替寄付金		△ 114,000			△ 114,000		△ 114,000				
79 当期指定正味財産増減額	0	△ 33,856,902	0	0	△ 33,856,902	0	△ 33,856,902	△ 12,817,098	△ 21,039,804	△ 34,382,903	98%
80 指定正味財産期首残高						0	34,882,902	47,200,000	△ 12,317,098	34,382,903	101%
81 指定正味財産期末残高						0	1,026,000	34,382,902	△ 33,356,902	0	*
82 III 正味財産期末残高						0	13,648,501	49,122,433	△ 35,473,932	7,648,433	178%

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
定額法を採用している。
- (2) 引当金の計上基準  
退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づき、期末自己都合要支給額から中小企業退職金共済制度支給額を控除した金額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
税込方式により行っている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
公益目的事業積立資産	3,000,000	0	0	3,000,000
つながり支援普及事業積立資産	34,382,902	0	34,382,902	0
介護予防事業外部団体支援積立資産	0	1,140,000	114,000	1,026,000
退職給付引当資産	2,687,067	500,895	0	3,187,962
合 計	40,069,969	1,640,895	34,496,902	7,213,962

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち基金に 対応する額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産					
公益目的事業積立資産	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)	(0)
介護予防事業外部団体支援積立資産	1,026,000	(1,026,000)	(0)	(0)	(0)
退職給付引当資産	3,187,962	(0)	(0)	(0)	(3,187,962)
小 計	7,213,962	(1,026,000)	(3,000,000)	(0)	(3,187,962)
合 計	7,213,962	(1,026,000)	(3,000,000)	(0)	(3,187,962)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	5,492,660	5,492,656	4
什器備品	11,369,221	7,899,249	3,469,972
ソフトウェア	460,900	138,270	322,630
権利	394,204	6,571	387,633
合 計	17,716,985	13,536,746	4,180,239

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地域発元気づくり支援金	長野県	0	4,218,000	4,218,000	0	—
情報発信事業補助金	東御市	0	5,000,000	5,000,000	0	—
高地トレーニング国際シンポジウム開催事業補助金	東御市	0	500,000	500,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業補助金	東御市	0	350,000	350,000	0	—
障がい児(者)健康づくり運動支援事業補助金	(福)東御市社会福祉協議会	0	150,000	150,000	0	—
新型コロナウイルス感染症に伴う社会活動支援金	(公財)日本財団	34,382,902	0	33,993,902	389,000	未払金
共生社会の実現に向けたパラスポーツの日常化促進事業助成金	(公財)村石スポーツ振興財団	0	350,000	350,000	0	—
合 計		34,382,902	10,568,000	44,561,902	389,000	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取民間補助金の振替額	33,993,902
受取寄附金の振替額	114,000
合 計	34,107,902

7. 一般正味財産及び指定正味財産の期首残高の変更について

前年度に一般正味財産の寄附金収入として受けた50万円が寄附目的を明示したものであり、本来は指定正味財産として受けるべきものだったことから、それぞれの期首残高を次のとおり修正した。

(単位：円)

内 容	修正前	減額	増額	修正後
一般正味財産期首残高	14,739,531	500,000		14,239,531
指定正味財産期首残高	34,382,902		500,000	34,882,902

8. その他

退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職金規程に基づく退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	10,280,882
② 中小企業退職金共済制度支給額	7,092,920
③ 退職給付引当金(①-②)	3,187,962

(3) 退職給付費用に関する事項

① 中小企業退職金共済制度掛金	720,000
② 退職給付引当金繰り入れ	500,895
③ 退職給付費用(①+②)	1,220,895

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職金規程に基づく退職一時金制度による期末自己都合要支給額から、中小企業退職金共済制度による支給額を控除した金額に相当する金額を基礎として計算している。

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しており、内容の記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

#### 退職給付引当金

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,687,067	500,895	0	0	3,187,962

**財 産 目 録**

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【流動資産】</b>			
預金	普通預金 八十二銀行田中支店	運転資金として	523,279
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	1,015,157
	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	運転資金として	2
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として	969,722
	当座預金 ゆうちょ銀行ゆうちょダイレクト	運転資金として	8,000
		<預金計>	2,516,160
未収金	東御市	事業収益等未収分	2,944,802
	(一社)日本転倒予防学会	事業収益等未収分	3,943,257
	立科町他	事業収益等未収分	308,224
		<未収金計>	7,196,283
流動資産合計			9,712,443
<b>【固定資産】</b>			
特定資産 公益目的事業積立資産	普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。	3,000,000
介護予防事業外部団体 支援積立資産	普通預金 佐久浅間農業協同組合北御牧支所	公益目的事業の積立資金である。	1,026,000
退職給付引当資産	普通預金 八十二銀行田中支店	公益目的事業の積立資金である。	3,187,962
		<特定資産合計>	7,213,962
その他 固定資産	車両運搬具	車両4台	公益目的保有財産である。
	什器備品	パソコン10台、筋力測定器他	公益目的保有財産である。
	ソフトウェア	会計ソフト	公益目的保有財産である。
	権利	商標権「健脚度」	公益目的保有財産である。
		<その他固定資産合計>	4,180,239
固定資産合計			11,394,201
資産合計			21,106,644
<b>【流動負債】</b>			
未払金	上田税務署他	事業費等未払分	3,490,279
前受金	第26回日本運動疫学会	参加費	6,000
預り金	役職員他	源泉所得税等	773,902
流動負債合計			4,270,181
<b>【固定負債】</b>			
退職給付引当金	職員	職員2名に対する退職金の支払いに 備えたもの	3,187,962
固定負債合計			3,187,962
負債合計			7,458,143
正味財産			13,648,501

## 令和5年度 御寄附者報告

公益財団法人身体教育医学研究所

## 1. 寄附金

	寄附採納 受付年月日	贈与者氏名（敬称略）	金額	備考
1	R5.4.5	土井 修一	9,786 円	太陽光発電料金相当（R4.10～R5.3月分）
2	R5.10.6	土井 修一	10,962 円	太陽光発電料金相当（R5.4～R5.9月分）
3	R5.11.24	一般社団法人 健康福祉広域支援協会	240,000 円	介護予防事業外部団体支援に対する寄附
4	R5.12.21	高所トレーニング環境システム研究会	480,000 円	東御市湯の丸高原の高所トレーニング 環境充実に対する寄附
5	R6.1.10	戸部 渉	10,000,000 円	法人事業全般に対する寄附
6	R6.3.28	NPO法人 佐久平総合リハビリセンター	400,000 円	介護予防事業外部団体支援に対する寄附
7				
8				
9				
10				
			11,140,748 円	

# 監査報告書

公益財団法人身体教育医学研究所

代表理事 田丸 基廣 様

令和6年5月15日

公益財団法人身体教育医学研究所

監事 林 経明

監事 堀内 和子

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び使用人等からのその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。その方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。